

本学初の共同研究講座「遠隔医療・介護共同研究講座」を設置

POINT

国立大学法人旭川医科大学（以下「本学」という。）と株式会社カナミックネットワーク（以下「カナミック」という。）は本年4月1日に本学初の共同研究講座「遠隔医療・介護共同研究講座～IoTクラウド利用のグローバルモデル構築～」（以下「共同研究講座」という。）を設置します。

カナミックはクラウド技術を提供する会社で、地域包括ケアの実現に寄与する情報提供システムや介護事業者向け業務システムなどを全国で展開しております。

共同研究講座では本学の遠隔医療技術およびIoTを活用した医療・看護・介護の包括的なケア情報の共有化・集約化により、円滑で効率的な包括的ケアを患者に提供できるかを検証するため、在宅医療の4要素（退院支援、日常支援、急性期支援、看取り）に対する有用性と経済性を評価します。さらに医療過疎地における普及に向けた課題を検証します。

共同研究講座は、特定された研究課題に基づき組織として設置するため、今後、安定した研究基盤が構築され、優れた研究成果、的確な社会的ニーズの把握が可能となることが期待できます。

【本研究に関するお問合せ】

【このプレスリリースに関するお問合せ】

旭川医科大学総務部研究支援課 TEL：0166-68-2264